《研究課題名》

胃切除後の胆石症/胆嚢炎発症に関するリスク因子の解明

《研究対象者》

2015 年 1 月 1 日から 2026 年 10 月 31 日までに当院で胃切除術を受けた方

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2031 年 10 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座　大竹玲子

（２）研究の意義、目的について

《意義》

胃切除後に胆嚢炎を発症することがありますが、術前にはなかった胆石が術後に新規に生じることが原因のひとつと考えられます。術後の新規胆石症発症には再建方法が関与している可能性も考えられ議論のあるところです。本研究により胃切除後胆石症発症のリスク因子を検証することで、術後合併症としての胆石症・胆嚢炎を予防するための方策が発見できうるという意義があります。

《目的》

本研究では、胃切除後の方を長期間観察し中長期術後合併症とそれに関与する因子について検証し、術後胆石症・胆嚢炎発症のリスク因子を解明することを目的とします。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は，滋賀医科大学が単独で行う単機関研究で、探索的な観察研究です。

《利用し、又は提供する情報の項目》

カルテから得られる身体情報・既往歴・血液検査結果・画像検査結果・手術所見・病理所見・治療概要・予後情報・診療記録を利用します。術後 5 年以上経過している方はこれまでのカルテ情報を後方視的に観察、術後 5 年未満の方は今後術後 5 年以上経過するまでのカルテ情報を観察していきます。観察は通常診療においてなされるカルテ情報のみであり、本研究により新たに検査や費用が生じるものではありません。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学　学長　遠山育夫

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座　大竹玲子
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2238
メールアドレス： rohtake@belle.shiga-med.ac.jp

©2016 Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee. Ver.4.5 2026.3.31